



# 大阪シンフォニック クワイア

## 創立40周年記念演奏会

1979年(昭和54年) → 2019年(令和元年)



没後150周年

H. ベルリオーズ

# 「レクイエム」

死者のための大ミサ曲

VENITE BENEDICTI PATRIS MEI IN REGNUM AETERNUM. *Compt ghy abenedyde myns vaders hier.*  
ITE MALEDICTI PATRIS MEI IN IGNEM SEMPIERNUM. *En ghact ghy vermaledyde in dat eewighe vier*

2019/6/30(日) 14:30 開演

フェスティバルホール

主催 大阪シンフォニック クワイア

後援 大阪府・大阪市・寝屋川市・交野市・枚方市文化国際財団

## お祝いのことば

大阪府知事 吉村 洋文



大阪シンフォニック クワイア創立40周年記念演奏会 ベルリオーズ「レクイエム」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

「大阪シンフォニック クワイア」は、昭和54年に「枚方フロイデ合唱団」として発足されて以降、平成7年に現在の名称に改められ、今日では、大阪府有数の合唱団に成長されるとともに、40年の長きにわたり、大阪の合唱音楽文化の発展にご尽力され、多くの観客を魅了し続けてこられました。これもひとえに、指導者をはじめ団員皆様の熱意と日々の練習の賜物と、改めて深く敬意を表します。

今年は、ベルリオーズ没後150年の節目の年として、壮大な楽曲「レクイエム」を演奏されると伺っています。湯浅卓雄さん指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団を迎え、貴団員と大阪市立大学グリークラブOB「南濤会」の皆様の大合唱により、想像をはるかに超える迫力と感動が味わえる、素晴らしい演奏会になることを期待しています。

現在、大阪府では、大阪の街が多彩な文化活動で満ちあふれ、彩られるよう、府民やアーティストがそれぞれの思いを表現・発表し、夢の実現や感動が生み出される基盤づくりを進めています。どうか皆様には、今後とも大阪の文化振興にお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、大阪シンフォニック クワイアの今後ますますのご発展と、ご来場の皆様のご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。

## 創立40周年記念演奏会開催に当たって

本日は、大阪シンフォニックワイア創立40周年記念演奏会・ベルリオーズ「レクイエム」にご来場賜り、真に有難く厚くお礼申し上げます。

当団(OSC)の前身「枚方フロイデ合唱団」が1979年7月10日(火)に練習をスタートさせ、今年40年目を迎え、その足跡を顧みますと感慨深いものがあります。ベートーヴェン「第九」を演奏する合唱団として発足しましたが、40周年記念でベルリオーズ「レクイエム」を演奏する合唱団に成長しました。この大曲はオーケストラが多数のティンパニー、そして会場の東西南北にバンダー(吹奏楽器)を配する類まれな大編成が求められます。また合唱も作曲家が300名を要求しており、このスケールの大きさから演奏する機会が少ないこと、容易に推察出来ます。

この曲の練習を1年前にスタートさせましたが、大音量迫力満点の曲、ピアノで静かに祈りを捧げる曲、伴奏なしのア・カペラ合唱曲、と変化に富み劇音楽ともいえる「レクイエム」に、一同その歌唱の難しさ・表現の難しさに直面しました。また曲ごとのダイナミックレンジに大きな隔たりがあり、その歌唱で体力を消耗する曲、との認識も定着しました。正に体力勝負の曲とも言え、全曲を歌い上げるスタミナ造りも大切な要素となりました。

このような大曲に取り組める合唱団に成長しましたこと、私達自身が驚き、自分たちを褒めて遣りたい思いです。これも偏に湯浅卓雄先生との出会いがあり、終始一貫して私達を、深い愛情を持ってご指導・牽引して下さいましたお陰と、団員一同感謝の気持ちで一杯です。その時々先生方のご指導も相俟つてのこと、中すまでもありません。そして延べ2000余名にも及ぶ在籍経験団員の存在、演奏会に足を運んで下さったお客様、私達の家族・地域・職場の皆様等々、全ての方々のご支援・ご理解があつてこそ今日の姿です。そのご恩に報いる素晴らしい壮大な演奏を本日、フェスティバルホールに響き渡らせること、この上もなく幸せなことと喜び一杯でございます。

40周年は、ここまで辿り着いた軌跡を顧みますと、私たち自身の力を謙虚に認識し、そしてこれからの推進力を得る起点にしなければ、と思つています。創立から40年でOSCの最高点に到達しましたが、これが頂点で下降することがあつてはなりません。更に高い峰を目指して、50周年時には、現実頂点を凌駕する状態であつて欲しいと願うばかりです。

ここで40年間を10年間ごとに区切って顧みます。そこから次の10年間がどうあるべきかが見えて来るのではと思つています。色々ご紹介したいことがありますが、代表的なことを記してみます。

### 最初の10年間＝合唱団の基礎作り

- ・大阪新音の演奏団体として発足した「枚方フロイデ合唱団」から、独立した枚方フロイデ合唱団へ。
- ・湯浅卓雄先生が当時常々ご指摘されていた【常時150名団員】を確立した10年間。

### 11年目～20年＝合唱団の基礎固め

- ・「枚方フロイデ合唱団」から「大阪シンフォニックワイア」に改称
- ・団員数が漸減気味(約190→約160名)、20周年記念・ベートーヴェン「荘厳ミサ」で幾らか挽回(180名)。

### 21年目～30年＝新たなOSCの開拓

- ・日本初演の演奏会(フィンジ「不滅の暗示」・ディーリアス「海流」)の実施。
- ・日英合同演奏会/ブリテン「戦争レクイエム」(ハダスフィールド合唱協会・トリニティ少年合唱団と)の開催。
- ・英国遠征(ハダスフィールド合唱協会定期演奏会/ヘンデル「ユダス・マカベウス」に50名出演)。

### 31年目～40年＝飛躍の10年

- ・練習拠点を枚方に加え大阪市内(御堂会館・中央公会堂)にも設定＝木曜クラスの開設。
  - ・総勢260名の大合唱団に。
  - ・フェスティバルホールを会場とする大曲演奏の合唱団に、更なる持ち味を加味させて発展成長途上へ。
- 2016年10月、ヴェルディ「レクイエム」・本日ベルリオーズ「レクイエム」を演奏。

### これからの10年間

総勢260名に達した団員数を維持するのは容易いことではありません。マエストロ湯浅卓雄先生にずっと率いて頂ける状態を堅持し、古今の名曲大曲に臨みたく思っています。私たちが創立間もない時期に、スポンサーなしの自主独立の合唱団としたその基本・伝統を一貫して守り育て、蓄感ながらアマチュア合唱音楽団体の中核的存在として継続発展することを希い、団員の総力を傾注させたく存じます。

その最初の取組みが来年5月に演奏予定のジョン・ラター「The Gift of Life: 生命(いのち)の磨り物」です。日本で初めての演奏(フルオーケストラ版)になるかと思つています。これを機にOSCにご参加下さり、共に音楽することをお楽しみ頂きますよう切望致しまして、創立40周年記念演奏会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

では、ベルリオーズ「レクイエム」心ゆくまで、演奏をご堪能下さいませ。

2019年6月30日  
大阪シンフォニックワイア  
団長 岡副大

# Program

指揮：湯浅 卓雄

管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

独 唱：望月 哲也(Tenor)

合 唱：大阪シンフォニック クワイア  
南漕会合唱団(応援出演)

合唱指導：石原 祐介・湯浅 茂子・宮脇 貴司 ※練習ピアノ兼任(OSC)  
宮内 泰(南漕会合唱団)

練習ピアノ：佐甲寿美・松園洋二・北口裕子(OSC)  
石幸千照(南漕会合唱団)

---

## H.ベルリオーズ：死者のための大ミサ曲「レクイエム」 Op.5

*Louis Hector Berlioz : Grande messe des morts (Requiem) Op.5*

---

1. *Requiem et Kyrie* (レクイエムとキリエ)
2. *Dies irae* (怒りの日)
3. *Quid sum miser* (哀れな私は何を)
4. *Rex tremendae* (恐るべき威厳ある王)
5. *Quaerens me* (私を捜して)
6. *Lacrimosa* (涙の日)

————— 休 憩 *Intermission* —————

7. *Offertoire* (奉献唱)
8. *Hostias* (生け贄)
9. *Sanctus* (聖なるかな)
10. *Agnus Dei* (神の小羊)

\* 今回の演奏では、フェスティバルホールのステージ等に限界がある為、各パートは許される限りそれぞれに奏者が配分されていますが、必ずしも全てが楽譜の指定通りの数にはなっていません。

(例：指定では、弦楽器合計108名、ホルン12名、シンバル10対など)

## H. ベルリオーズ (1803-1869)

### 死者のための大ミサ曲「レクイエム」 Op.5

菊間 史織 (音楽学)

ベルリオーズは敬虔なカトリック信者ではなかったとされるが、荘厳、壮大な宗教儀式への理想をもち、レクイエムの委嘱を受けた時、典礼文や、教会という場所と真剣に向き合った。その詩のイメージをつかむ激しい感性と、表現力豊かな楽器法への熟達が結び合わされると、きわめて力強い典礼音楽が生まれてきた。

委嘱をしたのは、1830年の7月革命で誕生したルイ・フィリップ王政の内務大臣ガスパランである。政府は1837年7月、革命で命を落とした人々と、1835年の国王暗殺未遂事件の犠牲になった兵士のための、慰霊祭を行う予定だった。その音楽をベルリオーズに、とおよそ三ヶ月前に指令が出された。式典は、かつてルイ14世が負傷兵のために建立した、パリ中心部の絢爛な複合施設、廃兵院の中のサン・ルイ教会で開催されることになっていた。ベルリオーズは猛烈な速さで曲を完成させたが、政府の都合により式典は縮小され、演奏の機会は失われてしまった。その代わり、同じ年の12月、アルジェリア戦争で戦死したダムレモン将軍とその部下たちを追悼する、陸軍省主催の式典で初演を行うことができた(会場はサン・ルイ教会、指揮者はフランソワ・アブネック)。ベルリオーズは合唱隊210人、楽団員と合わせて400人以上という大がかりな編成を用い、王侯や政治家を含む沢山の聴衆が、巧みな音響効果によって、教会の中で壮大な宗教的イメージを共有することを望んだ。

緑の美しいフランス南部の村の、医者之家に生まれたベルリオーズは、音楽の手ほどきをピアノではなくフラジョレットやギターで受けた。医学の道を捨てて作曲を師事したル・シュールからは、劇的な音楽づくりに関して大きな影響を受けた。すでに2曲のレクイエムをもつケルビーニを差し置いて政府から委嘱を受けた頃には、彼の音楽は、リストやパガニーニをはじめ同時代の数々の芸術家たちから注目されていた。一方で、彼が盲目的に片思いするイギリス人女優への思いを素材に《幻想交響曲》(1830)を書き、彼女と結婚にすらこぎつけた(1833)ことも、衆目を集めていた。頭の中に理想像を強く描き、それを形にしてしまうロマン的な情熱は、作品そのものにもよくあらわれている。

#### 1. Requiem et Kyrie (レクイエムとキリエ)

穏やかな三拍子で、死者に永遠の安息を与え、光で照らしてくれるようにと、神へ語りかけはじめる。そのような中、半音階のモチーフが、神の領域へ近づく鍵であるかのように畏れの気分を呼び覚ます。

#### 2. Dies irae (怒りの日)

ディエス・イレの主題やそこに重なり合う別の旋律によって、合唱は、キリストが人類への裁判を行う終末の日について歌う。その後、トゥーバ・ミルム(妙なるラッパの音)のセクションに入り、オーケストラの四隅に配されるバンダ(金管の小アンサンブル)や8対のティンパニとともに、裁きの日が到来し死者たちが蘇ってくる壮大な情景が描かれる。

なお、最後の審判の描写によって人々の死への恐怖を呼び起こす、ディエス・イレからラクリモサまでの「続唱」は、400年以上の間、レクイエムの典礼に組み込まれ、作曲家たちはこれを様々に音楽化してきたが、第2バチカン公会議(1962-65)で廃止された。

### 3. Quid sum miser (哀れな私は何を)

ディエス・イレ冒頭のふたつの旋律が再利用され、イングリッシュホルンと低音楽器だけのシンプルな伴奏のもと、キリストの大きな力に対する「私」の戸惑いと短い祈りがあらわされる。後半では、レコルダレ(思い出したまえ)、コンフターティス(呪われし者)から典礼文の一部が先取りされている。

### 4. Rex tremendae (恐るべき威厳ある王)

バンダ(小アンサンブル)やティンパニも交えた活気ある音楽で讃えながら、「私」はキリストに直接、救いを願い出ている。途中、レコルダレやコンフターティス、オッフエルトリウムからの典礼文の一部を用い、救われなかった場合の恐ろしい行き先が羅列される。

### 5. Quaerens me (私を捜して)

アカペラの合唱。かつて人々の罪を贖ってくれたキリストに対し、真摯に慈悲を請う。

### 6. Lacrimosa (涙の日)

裁きを受けるために灰の中から幾多の死人が蘇ってくる、そのおどろおどろしい光景を、各楽器や合唱がそれぞれの別のタイミングで音を発する、立体的な音楽で描いている。この箇所を、裏拍のヴァイオリンは鞭打ちといったように地獄の光景とみなす説もある。柔らかな中間部を経て、やがてバンダ(小アンサンブル)やたくさんの打楽器が加わり、再現される冒頭の音楽はますます大音量で盛り上がっていく。

### 7. Offertoire (奉献唱)

フーガ風の弦楽器に彩られて、救いを求める声自体はラとシ♭の2音で繰り返される、という個性的な構成で、当時から高い評価を受けてきた曲。最後の局面で声が神の「約束」に触れる瞬間、長調の響きで多声合唱へと開けていき、苦しみからの解放があらわされる。

### 8. Hostias (生け贄)

生け贄を捧げる男声合唱が止むたびに、低い音域のトロンボーンとフルートの独特なアンサンブルが鳴り響く。高音が天界、低音が人間と解釈されるが、作曲者はこの音楽で「生け贄の荘厳な印象」を強めようとした(ベルリオーズ『管弦楽法』、広瀬大介訳)。

### 9. Sanctus (聖なるかな)

天国を描いた曲。ここで初登場するテノール独唱は、フルートや女声とともに、4人のヴァイオリン独奏とヴィオラの伴奏のもと、甘美に歌い上げる。次いで凛としたフーガの合唱があり、これらの両部分が、それぞれシンバル、コルネットを加えて再現される。

### 10. Agnus Dei (神の小羊)

既出のオスティアスとレクイエムの音楽にのせて、合唱は、神の小羊であるキリストに死者の安息を求める。最後にレックス・トレメンデの末尾の旋律を使って、コムニオ(聖体拝領唱)の典礼文の一部を短く出した後、葬送行進曲的なティンパニの打音とともに、アーメンで曲を閉じる。

## Profile



### 湯浅 卓雄

Takuo Yuasa

### 指揮者

Conductor

現在、最も国際的な活躍が目覚ましい日本人指揮者の一人である湯浅卓雄は、大阪生まれ、高校卒業と同時にアメリカに留学。シンシナティ大学音楽院作曲理論科を経て、ウィーン国立音楽大学指揮科でハンス・スワロフスキーに師事した後、フランコ・フェラーラ、イーゴリ・マルケヴィッチ、ロヴロ・フォン・マタチッチ等にも師事した。1976年ウィーン・トンキュンストラ管弦楽団を指揮してデビュー。1979年 フィテルベルク国際指揮者コンクールに入賞するが、その際オーケストラが独自に特別賞を授与したことが話題となり、ワルシャワ国立フィル、ポーランド国立放送交響楽団などの定期演奏会に

度々登場するなど、欧州各地で着実に実績を重ねる一方、1984年から5年間群馬交響楽団指揮者も務めた。1989年から1994年までBBCスコットランド交響楽団首席客演指揮者、1997年から2005年まで英国・アルスター管弦楽団首席客演指揮者を務める一方、ロンドン・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルをはじめとする英国の主要オーケストラや、ロイヤル・フランダース・フィル、オスロ・フィル、ラハティ響、ベルリン響、ザグレブ・フィル、シドニー響、ニュージーランド響などに度々客演。2010/11年シーズンの主な公演として、フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ポルト国立交響楽団、オーフス交響楽団などが挙げられる。

海外での充実した活動に加え、日本国内にも度々帰国し、各主要オーケストラと共演を重ねている。湯浅卓雄の演奏はBBCをはじめとする世界各国の放送などにおいても度々紹介されているが、EMIとの2枚のCDに加え、1996年からは、世界有数の流通量を誇る『ナクソス』と専属契約を結び、次々とリリースされるCDは注目を集めると同時に高い評価を獲得している。とりわけ、「日本作曲家選輯」では中心的な役割を担っている。

2007年井植文化賞文化芸術部門受賞。

東京藝術大学、演奏芸術センター教授を経て、東京藝術大学名誉教授。



### 望月 哲也

Tetsuya MOCHIZUKI

### テノール

Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院オペラ科修了後、文化庁派遣芸術家在外研修員として渡欧。ウィーン国立音楽大学研究課程リート・オラトリオ科にて研鑽を積む。

二期会/ハンブルグ州立歌劇場共同制作『皇帝ティトの慈悲』題名役で高い評価を得た他、新国立劇場『魔笛』タミーノ、『タンホイザー』ヴァルター、びわ湖ホール/神奈川県民ホール『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『ワルキューレ』ジークムント等で活躍。

コンサートでは、「マタイ受難曲」等のエヴァンゲリスト、「メサイア」、「第九」など、そのレパートリーは30作品以上にもわたり、

サヴァリッシュ、アッシュケナージ、C.ミョンフン、小澤征爾等世界的指揮者と共演。

CDはソロで「Il mio tesoro」「Amarilli」「ひそやかな誘い〜R.シュトラウス歌曲集」を、また男声ユニット「IL DEVU」のメンバーとして「DEBUT」「NUKUMORI」（日本コロムビア）をリリース。第70回日本音楽コンクール（オペラ・アリア部門）第2位入賞。

二期会会員。



## 大阪フィルハーモニー交響楽団

Osaka Philharmonic Orchestra

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には、「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014～2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ／交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音が相次いでリリースされる等、高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール（大阪・中之島）を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を二年連続で受賞。2018年11月新たに尾高忠明指揮「ブルックナー／交響曲第8番」をフォンテックよりリリース。

<http://www.osaka-phil.com>



大阪シンフォニック クワイア演奏会 2015 フォーレレクイエム、ロシアンフィナーレ

## 大阪シンフォニック クワイア(OSC)

1979年7月、大阪シンフォニック クワイアの前身枚方フロイデ合唱団は、ベートヴェン「第九交響曲」を演奏目的とし、枚方、寝屋川地域を拠点に結成しました。そして1995年9月、更なる発展・広域化を目指して、「大阪シンフォニック クワイア (OSC)」に改称し現在に至っています。これまで40年間、関西の名だたるオーケストラと共演し、立派なホールでクラシック音楽の大曲・名曲を演奏し続けております（別冊公演記録参照）。その歩みの中で、日本初演を2度経験していますが、知られていない埋もれた名曲を多くの皆様にご紹介することもOSCの活動を示す貴重な

一側面です。またOSCは現在3会場に分かれて練習を行っています。1979年からの水曜クラス（現121名）、2006年から火曜クラス（現54名）、2014年からの木曜クラス（現80名）を立ち上げ、参加しやすい環境創りにも配慮しております。総勢255名を擁する大阪府下有数の合唱団に成長して参りました。加えて『OSCM（メイト）』をグループ合唱団として2012年に発足させ（現73名）、親しみやすい日本語の名曲・世界の民謡等を楽しみ歌っております。このような成長は、世界を舞台に活躍されている指揮者湯浅卓雄先生の設立当初からの指揮・ご指導、日常の諸先生のご細やかなご指導が相俟つてのことです。このように恵まれた指導環境の下で団員一同歌唱力に磨きをかけております。

なみせかい

## 南漣会合唱団

本日は、混声合唱への参加はもちろん、第一級のマエストロ、大フィル、フェスティバルホール、大編成のレクイエムなど、男声合唱団として初めてづくしの晴れのステージを迎えることができました。この機会を頂いたOSCの皆様にご心からお礼を申し上げます。南漣会合唱団は1940年、大阪市立大学グリークラブのOBによって設立され、戦争での挫折の時期もありましたが、現在では母校OB以外のメン



バーも3割を占める合唱団として、40人の若者たちが集い、元気な笑顔で活動を続けています。男声合唱の魅力はなんといっても力感あふれる重厚なハーモニーであり、日本の合唱曲やオペラ、ミュージカル、黒人霊歌を初め、日本のポップスやアニメ、歌謡曲まで幅広く取り組み、また、喜びの最たるものは、時と場所を選ばず、何人集まっても自然に愛唱歌が響き、心一つになれることでありましょう。宮内泰、海谷叔伸の団内指揮者と、石幸千照氏（ピアニスト）、木村孝夫氏（声楽家）の指導の下、定期演奏会は2年に一度、多くの友好男声合唱団とのジョイント演奏会を毎年1～2回行っており、2020年は設立80周年演奏会を迎えます。（＊練習は毎週土曜日午後6時から大阪なんばにて。 活動予定・入団案内は、ホームページ検索→南漣会合唱団）



## BERLIOZ REQUIEM Op.5

### 1. Requiem et Kyrie (レクイエムとキリエ)

Requiem aeternam dona eis Domine, et lux perpetua luceat eis.  
 Te decet hymnus, Deus, in Sion, et tibi reddetur votum in Jerusalem.  
 Exaudi orationem meam: ad te omnis caro veniet.  
 Requiem aeternam dona defunctis, Domine, et lux perpetua luceat eis.  
 Kyrie eleison. et lux perpetua luceat eis. Kyrie eleison.

### 2. Dies irae (怒りの日)

Dies irae, dies illa, solvet saeculum in favilla, teste David cum Sibylla.  
 Quantus tremor est futurus quando iudex est venturus,  
 cuncta stricte discussurus.  
 Tuba mirum spargens sonum per sepulcra regionum, coget omnes ante thronum.  
 Mors stupebit et natura. Cum resurget creatura iudicanti responsura.  
 Liber scriptus proferetur in quo totum continetur unde mundus iudicetur.  
 Iudex ergo cum sedebit, quidquid latet apparebit: nil in ultimum remanebit.

### 3. Quid sum miser (哀れな私は何を)

Quid sum miser tunc dicturus, quem patronum rogaturus,  
 cum vix justus sit securus? Recordare, Jesu pie, quod sum causa tuae viae,  
 ne me perdas illa die. Oro supplex et acclinis cor contritum quasi cinis,  
 gere curam mei finis.

### 4. Rex tremendae (恐るべき威厳ある王)

Rex tremendae majestatis qui salvandos salvas gratis, salva me, fons pietatis.  
 Recordare, Jesu pie, quod sum causa tuae viae ne me perdas illa die.  
 Confutatis maledictis, Jesu, maledictis, flammis acerbis addictis,  
 voca me et de profundo lacu. Libera me de ore leonis,  
 ne cadam in obscurum. Ne absorbeat me Tartarus.  
 qui salvandos salvas gratis; salva me, fons pietatis.  
 Rex tremendae majestatis.

## 5. Quaerens me (私を捜して)

Quaerens me sedisti lassus ; redemisti crucem passus. Tantus labor non sit cassus.  
Iuste Judex ultionis donum fac remissions, ante diem retonis.  
Ingemisco tanquam reus : supplicanti parce, Deus.  
Preces meae non sunt dignae, sed tu bonus fac benigne,  
ne perenni cremer igne. Non sum dignus, non sed tantus labor non sit cassus.  
Qui Mariam absolvisti et latronem exaudisti, mihi quoque spem dedisti.  
Inter oves locum praesta, et ab haedis me sequestra, statuens in parte dextra.

## 6. Lacrymosa (涙の日)

Lacrymosa dies illa qua resurget ex favilla homo reus judicandus.  
Pie Jesu Domine : dona eis requiem aeternam.

## 7. Offertoire (奉献唱)

Domine Jesu Christe, Rex gloriae, libera animas omnium fidelium defunctorum  
de poenis, Domine, libera eas de poenis inferni et de profundo lacu.  
Libera eas et sanctus Michael signifer repraesentet eas in lucem sanctam :  
quam olim Abraham et semini eius promisisti, Domine Jesu Christe. Amen.

## 8. Hostias (生け贄)

Hostias et preces tibi, laudis offerimus. Suscipe pro animabus illis  
quarum hodie memoriam facimus.

## 9. Sanctus (聖なるかな)

Sanctus, sanctus, sanctus, Deus Sabaoth. Pleni sunt coeli et terra gloria tua.  
Hosanna in excelsis.

## 10. Agnus Dei (神の小羊)

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi, dona eis requiem senpitemam.  
Te decet hymnus, Deus, in Sion, et tibi reddetur votum in Jerusalem.  
Exaudi orationem meam : ad te omnis caro veniet.  
Requiem aeternam dona defunctis, Domine, et lux perpetua luceat eis,  
cum sanctis tuis in aeternam, Domine, quia pius es. Amen.

# 大阪シンフォニック クワイア 公演記録

年月	演奏曲	指揮者	独唱	管弦楽	会場
1979.12	ベートーヴェン／第九(第1回)	外山 雄三	立原 ちえ子(S)・成田 絵智子(A) 林 誠(T)・東 保(B)	大阪フィル ※応援：フロイデ合唱団	枚方市民会館
1980. 7	ヴェルディ／レクイエム	外山 雄三	立原 ちえ子(S)・成田 絵智子(A) 林 誠(T)・佐藤 征一郎(B)	大阪フィル	フェスティバルホール
1980.12	ベートーヴェン／第九(第2回)	外山 雄三	立原 ちえ子(S)・成田 絵智子(A) 林 誠(T)・大島 幾雄(B)	大阪フィル ※応援：フロイデ合唱団	枚方市民会館
1981. 4	春のポップスコンサート ヴェルディ／「アイダ」他	外山 雄三		大阪フィル ※各地フロイデ合唱団合同	フェスティバルホール
1981. 7	シューベルト／ト長調ミサ 外山雄三／子供の1字軍	湯浅 卓雄	田中 千恵子(S)・仲宗根 稔(T) 金丸 七郎(B)	テレマン・アンサンブル	枚方市民会館
1981.12	ベートーヴェン／第九(第3回)	外山 雄三	立原 ちえ子(S)・成田 絵智子(A) 林 誠(T)・勝部 太(B)	大阪フィル ※応援：フロイデ合唱団	枚方市民会館
1982. 4	春のポップスコンサート ボロディン／ダツタン人の踊り 他	外山 雄三		大阪フィル ※各地フロイデ合唱団合同	フェスティバルホール
1982. 9	サマーホームコンサート ヨハン・シュトラウス／美しき青きドナウ 他	湯浅 卓雄	布笠 秀昉(T) 旭堂 小南陵(和歌)	関西フィル	青少年会館ホール
1982.12	ベートーヴェン／第九(第4回)	外山 雄三	立原 ちえ子(S)・成田 絵智子(A) 丹羽 勝海(T)・勝部 太(B)	大阪フィル ※淀川工高グリーと合同	枚方市民会館
1983. 7	ヴィヴァルディ／グロリア・ミサ	湯浅 卓雄	瀬野 光子(S)・川村 輝子(S) 森池 日佐子(A)	テレマン・アンサンブル	枚方市民会館
1983.12	ベートーヴェン／第九(第5回)	手塚 幸紀	坂本 環(S)・藤川 賀代子(A) 布笠 秀昉(T)・勝部 太(B)	京都市響 ※淀川工高グリーと合同	枚方市民会館
1984. 9	ヘンデル／メサイア 【創立5周年記念公演】	湯浅 卓雄	田中 千恵子(S)・上辻 静子(A) 西垣 俊朗(T)・木川田 透(B)	京都市響	枚方市民会館
1984.12	ベートーヴェン／第九(第6回)	手塚 幸紀	瀬野 光子(S)・藤川 賀代子(A) 林 誠(T)・勝部 太(B)	京都市響 ※池田 豊中フロイデと合同	ザ・シンフォニーホール
1985. 7	ハイドン／戦時のミサ	湯浅 卓雄	高須 礼子(S)・森池 日佐子(A) 西垣 俊朗(T)・川下 登(B)	京都市響	枚方市民会館
1986. 6	ブラームス／ドイツ・レクイエム	湯浅 卓雄	根津 信子(S)・勝部 太(B)	京都市響	枚方市民会館
1986.12	ベートーヴェン／第九(第7回)	湯浅 卓雄	瀬野 光子(S)・藤川 賀代子(A) 林 誠(T)・勝部 太(B)	京都市響	枚方市民会館
1987. 9	ハイドン／天地創造	湯浅 卓雄	曾我 栄子(S) 佐々木 正利(T)・多田羅 迪夫(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1987.12	ベートーヴェン／第九(第8回)	湯浅 卓雄	瀬野 光子(S)・藤川 賀代子(A) 林 誠(T)・池田 直樹(B)	京都市響	枚方市民会館
1988. 8	モーツァルト／レクイエム	湯浅 卓雄	曾我 栄子(S)・辻 有子(A) 佐々木 正利(T)・多田羅 迪夫(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1988.12	ベートーヴェン／第九(第9回)	湯浅 卓雄	瀬野 光子(S)・藤川 賀代子(A) 若本 明志(T)・多田羅 迪夫(B)	京都市響	枚方市民会館
1989.11	ハイドン／四季 【創立10周年記念公演】	湯浅 卓雄	名古屋 木実(S) 佐々木 正利(T)・木村 俊光(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1990. 7	シューベルト／変ホ長調ミサ	湯浅 卓雄	豊田 喜代美(S)・竹本 節子(A) 豊場知昭(T)・手島孝教(T) 大島幾雄(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1990.11	ベートーヴェン／第九(第10回) ローレンツ／ハレルヤ	湯浅 卓雄	岡坊久美子(S)・藤川賀代子(A) 豊場 知昭(T)・多田羅 迪夫(B)	京都市響	枚方市民会館
1991. 9	カール・オルフ／カルミナ・ブラーナ	湯浅 卓雄	岡坊 久美子(S) 丹羽 勝海(T)・大島 幾雄(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1991.12	ベートーヴェン／第九(第11回)	湯浅 卓雄	岡坊 久美子(S)・竹本 節子(A) 豊場 知昭(T)・多田羅 迪夫(B)	京都市響	枚方市民会館
1992.10	マーラー／嘆きの歌 バーンスタイン／チチェスター詩篇	湯浅 卓雄	曾我 栄子(S)・郡 愛子(A) 佐々木 正利(T)・岡田 孝(T)	京都市響 近大吹奏楽部	フェスティバルホール
1993. 8	モーツァルト／ハ短調ミサ「大ミサ」	湯浅 卓雄	豊田 喜代美(S)・永井 和子(A) 若本 明志(T)・多田羅 迪夫(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1993.12	ベートーヴェン／第九(第12回)	湯浅 卓雄	岡坊 久美子(S)・藤川 賀代子(A) 若本 明志(T)・戸山 俊樹(B)	大阪センチュリー響	寝屋川市民会館
1994. 3	カール・オルフ／カルミナ・ブラーナ	湯浅 卓雄	日紫宮 恵美(S) 篠崎 直昭(T)・大島 幾雄(B)	京都市響 ※高槻市民合唱団の応援	高槻市民会館

年月	演奏曲	指揮者	独唱	管弦楽	会場
1994. 8	ブラームス/ドイツ・レクイエム 【創立15周年記念公演】	湯浅 卓雄	ウルスラ・フィードラー(S) 多田羅 迪夫(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1994.12	ベートーヴェン/第九(第13回)	湯浅 卓雄	澤畑 恵美(S)・竹本 節子(A) 若本 明志(T)・大島 幾雄(B)	京都市響	枚方市民会館
1995. 9	シューベルト/ロザムンデ ベートーヴェン/「ミサ」ハ長調	湯浅 卓雄	木村 能幸子(S)・永井 和子(A) 佐々木 正利(T)・多田羅 迪夫(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1996. 9	ヘンデル/メサイア	M.キプルホワイト	日紫喜 恵美(S)・藤川 賀代子(A) 畑 儀文(T)・田中 勉(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1996.12	ベートーヴェン/第九(第14回)	湯浅 卓雄	澤畑 恵美(S)・藤川 賀代子(A) 若本 明志(T)・大島 幾雄(B)	京都市響	枚方市民会館
1997. 8	ブラームス/哀悼歌、運命の歌 他	湯浅 卓雄	永井 和子(A)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
1998. 9	ベートーヴェン/ミサ・ソレムニス 【創立20周年記念公演】	湯浅 卓雄	豊田 喜代美(S)・竹本 節子(A) 古川 浩之(T)・志村 文彦(B)	大阪フィル	フェスティバルホール
1999. 6	ブーランク 他/フランス音楽特集	湯浅 卓雄	大倉 輝子(S)	大阪フィル	京都コンサートホール
1999.12	ベートーヴェン/第九(第15回)	田中 良和	安保 淑子(S)・児玉 祐子(A) 畑 儀文(T)・片桐 直樹(B)	大阪センチュリー響	枚方市民会館
2000. 9	モーツァルト/レクイエム	田中 良和	平松 英子(S)・寺谷 千枝子(A) 五郎部 俊朗(T)・成川 真(B)	大阪センチュリー響	京都コンサートホール
2001. 9	ジェラルド・フィンジ/不滅の暗示 【日本初演】	湯浅 卓雄	マーティン・ヒル(T)	大阪フィル	ザ・シンフォニーホール
2002. 3	チャリティーコンサート「日本のうた」	益子 務		ピアノ伴奏	門真・ルミエールホール
2003. 3	ベルリオーズ/テ・デウム	湯浅 卓雄	望月 哲也(T)	大阪フィル	ザ・シンフォニーホール
				※高槻市民合唱団と合同	高槻市民会館
2004. 4	ディーリアス/海流【日本初演】 ツェムリンスキー/詩篇 23、83	湯浅 卓雄	ポール・ウィーラン(B)	関西フィル	ザ・シンフォニーホール
2005. 6	ヴェルディ/レクイエム 【創立25周年記念公演】	湯浅 卓雄	横山 恵子(S)・手島 真佐子(A) 井ノ上 了史(T)・久保田 真澄(B)	京都市響	京都コンサートホール
2006. 7	ヴェルディ/聖歌四篇	湯浅 卓雄		関西フィル	ザ・シンフォニーホール
2007. 8	ブリテン/戦争レクイエム	湯浅 卓雄	岡崎 他加子(S) マーティン・ヒル(T)・井原 秀人(B)	大阪フィル	フェスティバルホール
				※英国のシンガー合唱協会と合同	
2008. 5	ベートーヴェン/オリヴァ山のキリスト シューベルト/ト長調ミサ	湯浅 卓雄	天羽 明恵(S) 吉田 浩之(T)・三原 剛(B)	大阪センチュリー響	ザ・シンフォニーホール
2008.10	ベートーヴェン/第九(第16回)	湯浅 卓雄	木下 美穂子(S)・渡辺 敦子(A) 竹田 昌弘(T)・三原 剛(B)	関西フィル	京都コンサートホール
2009. 5	5月にロシアを歌う スクリャービン/交響曲第1番 他	湯浅 卓雄	水井 和子(A) 福井 敏(T)	京都市響	京都コンサートホール
2010. 4	ヘンデル/ユダス・マカベウス 【創立30周年記念公演】	湯浅 卓雄	平松 英子(S)・寺谷 千枝子(A) 望月 哲也(T)・福島 明也(B)	京都市響	京都コンサートホール
2010. 4	ヘンデル/ユダス・マカベウス 【英[UK]のシンガー合唱協会定期演奏会出演】	湯浅 卓雄	Ruby Hughes S・Catherine Wjn Rogers M Ben Johnson(T)・Michael George(B)	Manchester Camerata	英国 Huddersfield Town Hall
2011. 4	ブラームス/ドイツ・レクイエム	湯浅 卓雄	白木 あい(S)・福島 明也(B)	大阪センチュリー響	ザ・シンフォニーホール
2012. 2	ひらかた春を呼ぶコンサート ワーグナー/歌劇タンホイザー 他	湯浅 卓雄		関西フィル	枚方市民会館
2012.10	メンデルスゾーン/聖パウロ	湯浅 卓雄	朴 瑛実(S)・布施 奈緒子(MS) 宮里 直樹(T)・大山 大輔(B)	関西フィル	京都コンサートホール
2014. 2	ドヴォルザーク/スターバト・マーテル	湯浅 卓雄	並河 寿美(S)・八木 寿子(MS) 宮里 直樹(T)・黒田 博(B)	京都市響	京都コンサートホール
2015. 1	モーツァルト/ミサ曲ハ短調「大ミサ」 【創立35周年記念公演】	湯浅 卓雄	安井 陽子(S)・林 美智子(MS) 吉田 浩之(T)・三原 剛(B)	日本センチュリー響	ザ・シンフォニーホール
2015.11	フォーレ/レクイエム	湯浅 卓雄	藤木 大地(CT)・福島 明也(B)	関西フィル	ザ・シンフォニーホール
2016.10	ヴェルディ/レクイエム	湯浅 卓雄	木下 美穂子(S)・重松 みか(MS) 宮里 直樹(T)・福島 明也(B)	大阪フィル	フェスティバルホール
2017. 8	ハイドゥン/天地創造	湯浅 卓雄	安井 陽子(S) 中嶋 克彦(T)・青山 貴(B)	京都市響	ザ・シンフォニーホール
2018. 6	佐藤真/カンタータ「土の歌」 他	湯浅 卓雄	宮里 直樹(T)	大阪フィル	ザ・シンフォニーホール
2019. 6	ベルリオーズ/レクイエム 【創立40周年記念公演】	湯浅 卓雄	望月 哲也(T)	大阪フィル	フェスティバルホール

〈今後の予定〉

2020. 5	ラター/生命(いのち)の贈り物	湯浅 卓雄		大阪フィル	ザ・シンフォニーホール
---------	-----------------	-------	--	-------	-------------

# 合唱出演者 (五十音順)

※南澤会合唱団

## ソプラノ1

赤松 孝子	荻野 紀子	北村 有希子	田島 視千子	永富 純子	村田 久美子
池山 麻由美	奥野 いづみ	倉茂 洋子	土山 光	中山 千恵子	山口 俊子
石田 美緒	堅田 雅子	篠置 柱子	寺西 智代	藤井 増子	横山 国子
大辻 和代	川地 智子	高木 あゆみ	中嶋 恵子	松倉 津也子	吉田 智子
大前 裕子	関歳 真紀子	高畑 久枝	中田 あや	三野 啓子	渡邊 章子

## ソプラノ2

市田 典子	梶川 よ志子	清水 裕子	友金 郁子	二宮 勝美	福森 佐知子	横山 万里
市場 秀子	嘉勢 伊都子	新宅 春代	渡守武 理枝	萩原 しほり	星川 眞喜子	吉岡 啓子
大熊 由美	川井 美登子	高宮 由紀子	鳥居 真美	畑野 三枝子	御池 いづみ	吉田 尚子
大崎 浩子	河村 匠子	土田 彩子	中川 孝子	羽生 由利子	水野 良子	
大家 慈子	佐藤 美也子	土山 有美子	中津 智子	浜田 あき子	山口 百絵	
奥田 明子	佐藤 由紀子	董 又杭	仲西 佳世子	林 文子	山崎 弘江	
櫻田 久美子	佐野 恵子	徳田 美也子	中野 恵永子	福井 福子	山本 悦子	

## アルト1

渥美 寿美	柿木 京子	澤田 一子	高田 万里	林 順子	本多 幸	山田 明美
磯田 尚実	柿木 静子	篠田 あや子	竹田 康子	原田 和代	本多 利子	山田 尚子
岩元 民子	岸本 昭子	島 千歳	堅谷 敏子	菱田 佳代子	本田 元子	山野 美恵
上口 志保子	北川 慧子	島内 眞知子	田中 京子	藤井 その子	三浦 孝子	山原 輝代
上田 美左子	衣笠 美和子	杉崎 信子	田中 智子	藤川 里子	水谷 寿子	山本 芳子
大西 直子	草場 康子	杉政 唯実	寺林 公子	星野 麗子	水盛 敏子	四元 幸子
小野 紀代美	後藤 洋子	鈴木 良子	中野 雅子	堀内 キヌ	森西 邦子	米澤 妙子
斧原 優子	Sarah Spicer	孫 力敏	長本 芳江	堀田 幸子	森野 宮子	

## アルト2

朝日 正子	奥村 三都子	西條 由美子	瀬川 弘子	夢田 恵美子	辻 有紀子	松村 美子
市田 裕子	川井 むつ子	斉田 寿子	高重 久美	多田 千恵子	中村 千賀子	宮内 恭子
延藤 芳枝	木越 雅子	疋野 克子	高島 理絵	田中 友枝	早川 美枝子	八尾 美代子
大坪 順子	古賀 孝子	白井 絢子	竹内 幸子	田邊 文乃	二木 美智子	山田 恭子
奥野 佳代子	後藤 明子	白石 文子	武田 良子	袋布 照子	松村 美規子	渡邊 洋子

## コントラアルト

伊田 幹子	川邊 直子	鈴木 香奈子	中川 真美	入見 山紀子	山本 亜紀子
扇田 紀子	近藤 千鶴子	鈴木 良子	永田 絃子	藤原 史子	吉川 紀美代
神屋 幸子	清水 陽子	津井田 てるみ	中司 千秋	水川 登代子	

## テノール1

石田 裕一	河川 欽也	竹田 和弘	中嶋 鴻毅	福家 伸治 ※	森本 眞一 ※
岩井 俊道	島内 象夫	谷村 昭	長田 幸一郎 ※	松波 謙至 ※	吉川 眞央
岡 道夫	實木 健一 ※	月川 兆 ※	春成 博	水川 喬一	

## テノール2

安藤 隆	長川 達	北澤 庸好	白井 清貴 ※	古川 完	山岸 亨
上田 康博	尾崎 納 ※	北山 博保	扇子 豊	宮内 泰 ※	山下 紀夫
大田 武	小田 洋志	齊藤 賢治	中村 信雄	諸谷 正見	

## バリトン

赤松 慶之	内野 君彦	川島 和義	新谷 隆司	津田 善央	西川 嘉英	山本 大介
石居 洋	岡副 大	小島 直之	千田 専一郎	出口 順三 ※	西野 猛	横田 卓郎 ※
石原 潤一 ※	小高 正樹	後藤 顕	瀧井 尚志 ※	寺田 孝	長谷川 治	横山 賢一
今泉 勲	金井 年	佐藤 孝雄	竹内 徹也	中津 哲司	花澤 光正 ※	
今村 啓司	川口 勝弘	鳥 巖	辻 秀郎 ※	中西 友康	山田 隆明	

## バス

赤崎 弘平 ※	海谷 叔伸 ※	木下 伸三	曾家 義晴 ※	寺林 史朗	牟田 岑男 ※
石堂 能成	柿平 公人	小原 徹也	田中 彰一 ※	畑 佳幸	安井 永 ※
扇田 豊 ※	川手 実	里見 保隆	丹下 豊吉	星野 久史	和田 昭夫 ※
小倉 裕 ※	木越 敏郎	荘司 弘之	津井田 篤一	松井 繁明	



発 行：2019年6月30日(日)

主 催：大阪シムフォニック クワイア

後 援：大阪府・大阪市・寝屋川市・交野市・枚方市文化国際財団

マネジメント：(株)AMATI <http://www.amati-tokyo.com>

制 作：大阪シムフォニック クワイア

デザイン：水本紗恵子

表紙：Peter Brueghel I “最後の審判”(1558)

※無断複写・転載・引用などを禁じます。